

06. ● 8月7日(日) 積丹半島 快晴

・今日も朝から晴れている。6時に起床、羊蹄山が太陽を背に目の前にそびえて見える。さて今日はどういう行動をとろうか。明日は空沼岳へ登る予定なので今日の宿泊は定山溪あたりに予定している。真っ直ぐいけば数時間でついてしまうが、ここニセコビュープラザにいてもどうしようもない。8時半前にとりあえず北へ向けて出発した。倶知安への道を走るの今日で3回にもなる。倶知安の街を走りながら「今日は天気もいいし、久しぶりで積丹半島を回ってみようか」と今日の行動目標ができた。半島のとっつきに「泊」があり、ここには東海第一原発の爆発で脚光を浴びている原発のひとつ「北電泊原子力発電所」がある。原発の入口は固く門を閉ざして、中に入ることができないが、入口近くに原発PR施設の「北海道電力、原子力PRセンター(とまりん館)」が建っている。



・こんなところに贅を尽くした立派な建物で、立派な室内プールまで付いている。展示は、という内容が文化祭に毛が生えたような貧弱なものに、これでもかというほど金をかけていて、笑っちゃう。がらんとした館内には大勢の職員がやることもなくたむろしていた。原発の無駄使いが十分PRされていて、呆れた気持ちで「とまりん館」を後にした。



・泊村に入ると「練御殿とまり」という案内が立っていたのでちょっと寄ってみた。国道から左へ細い急坂を下り海岸に出た

ところにその御殿が建っていた。小樽の練御殿ほどではないが、なかなか立派な建物で、にしん漁で繁栄していた頃が偲ばれた。

・積丹半島西岸の海岸線を快走した。何年か前に朋子と走ったことのある懐かしい道で、切り立った海岸線に奇岩が次々と現れてきて実に楽しい。

・突端の景勝地「神威岬」に寄った。ここも以前来たことがある懐かしいところだが、あまり記憶が定かではない。駐車場から岬までは結構距離がありおまけにアップダウンが大きい。真夏の太陽が照りつける猛暑の中、山に登ったみたいに汗が噴出し汗びっしょりだ。



・今日は夏休みで日曜日だからか、観光客がいっぱい。岬までの道は狭いのですれ違うのも大変だった。道の脇にはノコギリソウなど



いろいろな花が咲いていて楽しい遊歩道だ。岬からの眺めがまた素晴らしい。

青く透きとおった海、青い空、目の下では奇岩が波に洗われて白い波が砕けている。

・ちょうど昼になったので駐車場の食堂でイカ刺し定食（1150 円）で腹ごしらえして出発。明日登る予定の空沼岳の登山口を確かめておこうと思い、定山溪方面へ向かった。途中余市、小樽、札幌と都会を抜けてゆかなければならないが、案の定 余市も小樽も渋滞で通過するのに結構時間がかかった。札幌で高速に入り札幌西まで渋滞を回避したが、降りてから定山溪方面への道がまた渋滞。登山口にたどり着いたときは3時をすぎている。登山口に車がいっぱい止まっているのを見て、この山が、札幌の近くにあるため人気の高い山であることを再認識した。

・今日の積丹半島は晴天猛暑で大汗をかいたので風呂へ入りたい。以前入ったことのある定山溪・松の湯まで 30 分位なのでそこを目指して登山口を後にした。国道へ出たところになんと立派な駐車公園があった。登山口には近いし、トイレは水洗で洋式だし、照明はあるし、近くにコンビニが2軒もあるし、こんなにいいところはない。

今夜の宿はここに決めて、定山溪・松の湯へ車を走らせた。

・松の湯は全く同じ浴槽と洗い場を持った部屋が2つあり、男湯と女湯かと思ったら両方とも男湯で、両方にある脱衣場も洗面所もつながっていて行き来自由の面白い風呂だ。思い出した。5時過ぎに風呂を出て、途中コンビニで今夜と明日の食料を調達してから駐車公園についた。

・広い駐車場に私1台のみ。国道沿いなのでトイレに立ち寄る車の出入りがひっきりなしにあるが、泊まる気配の車はない。風呂も入ったし、夕食も済んだし、7時半には寝床についた、明日の空沼岳を夢見て！



広い駐車場とトイレを備えた立派な駐車公園

・ところがどっこい、突然騒々しくなった。
女一人を含む若い子が数人、数台の車で乗り付けてきて、エンジンをふかしたり、騒音をたてて駐車場内を走りまわったり、いつ果てるともなく12時になった。当然うるさくて寝るどころではない。
いっこうに収まる気配がないので、ここから逃げるしかない！ せっかく良い駐車公園だと思ったのに実に残念。風呂の帰り道で近くに公園を見たのを思い出してそこへ向かった。ところが来てみるとゲートが閉まっていて入れない。なんということだ！
近くを探すと道の脇に駐車スペースを発見した、ラッキー！ 少々坂だがもう1時近いし止まれればどこでもいい。やっと寝ることができた。ところが今度はすぐ後ろに軽自動車がやって来て止まり、エンジンをかけたまま、でかい音で音楽を聴いていやがる、またもや安眠妨害、なんてこった！ すぐに10mくらい移動して逃げた。やっと静寂を得ることができて就寝した。もう2時すぎている。

*道の駅と同じくらい素晴らしい駐車公園を見つけておきながら、とんでもないことになってしまった。世の中そんなにうまくゆくことはない痛感させられた。